

市ヶ尾中Times

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/ichigao>

<学校教育理念>

自立貢献

発行者：校長 竹下 恭子

市ヶ尾中 Tel 045-973-3400

「繋ぐ～心をひとつに～」第37回体育大会！



度々延期となった今年度の体育大会でしたが、5月25日(木)第37回体育大会を無事に開催することができました。

今年の大会テーマは「繋ぐ～心をひとつに～」です。実行委員の生徒による力強い選手宣誓からスタートし、競技、学年種目に真剣に取り組む市ヶ尾中の姿が一つひとつ印象に残る大会でした。

1年生は入学後初めての中学校行事。学年練習の機会をととして「台風の日」の記録更新に向けて毎回練習を重ねていました。次第にクラス全体がまとまっていき、クラスの良さが随所で光っ

ていました。

2年生はどのクラスもチーム力がすばらしく、学年種目では、速さや力だけではなくチームの作戦も功を奏して、スピード感と緊張感あふれる「飛びつき綱引き」が展開されていました。3年生にとっては最後の体育大会。やはり3年生は流石です、という姿を先輩たちに見せてくれました。個人の力は勿論のこと、最後はクラスで団結するという学年のまとまりが感じられました。まさに応援する側も「気分上々」を実感させてくれる学年種目でした。また、実行委員会をはじめ、準備や開閉会式運営など、体育大会の成功に向けて全体を牽引していました。

また、個人種目や学級対抗リレーにおいても、全学年、個の力や必死で応援する様子も見ごたえがありました。「一生懸命」何かに取り組む姿は、人の気持ちを動かします。生徒の皆さんが、体育大会で得たことを、きっとこれからの学校生活、市ヶ尾中の様々な取組に生かしてくれるものと期待しています。

今年度は4年ぶりに全学年の保護者の皆様の観覧を実施することができました。今回の観覧についての趣旨をご理解いただき、ご協力をいただいたすべての保護者の皆様、そして見守ってくださった地域の皆様、本当にありがとうございました。

「笑顔とあいさつがあふれる子ども像」を目指して～R5 第1回市ヶ尾中ブロック学校運営協議会開催～

5月24日(水)市ヶ尾中学校ブロック学校運営協議会を本校図書室にて開催しました。

市中ブロック小中共同目標の育てたい子ども像「笑顔とあいさつあふれる子ども」に向けて学校、家庭や地域でともに何ができるか、ブレインストーミングをしながらアイデアを出し合い、意見を交流しました。市中では、生徒による委員会が中心となり、朝のあいさつ運動、毎年小中で一緒に活動をするなど継続した取組をしています。意見交流では、このあいさつへの取組をさらに発展させるアイデア、地域とつながる機会、子どもも大人も自らの思いを相手に伝える力の大切さ、学校と地域がどのようにつながると効果的か等々、さまざまな意見が出て、活発な会となりました。

コロナ禍を経験し、あらためて人とつながることの大切さを感じた3年間。今年は地域で再開する行事等にも小中学生がさまざまな機会に参加できそうです。次回の協議会は小学校で開催。年間を通してブロックの子どもたちの成長や育成に向けて取組をしていく予定です。



市ケ尾中学校「横浜どこでもスタディ」の取組 ～誰一人取り残さない学びの機会を～

横浜市では、様々な事情で長期間授業が受けられない生徒の学習保障、GIGAスクール構想による一人一台端末の有効活用、個別最適化された教育の実現などを目的として、子ども自身が必要に応じて学ぶ方法を選択できる取組を各学校で行っています。市ケ尾中学校では、次の3つの取組について、子ども自身が必要に応じて選べるように準備しています。

1. オンライン学活で先生・学校と繋がる

朝の時間や放課後の時間など、先生とオンラインでやり取りをすることができます。学習について質問したり相談したりするなど、学校との繋がりを絶やさず生徒の「学びたい」気持ちに添えます。



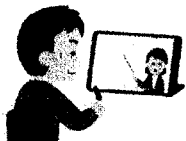
2. 学習教材「Monoxer」「デキタス」の活用

学習ツールの Monoxer を利用して、一人ひとりのペースに合わせた学習に取り組むことができます。また、なかなか学校へ足が向かず家庭での学習に困難さを感じている生徒についても、WEB 学習システムのデキタスを利用して学習することもできます。



3. オンラインで授業に参加

教室で行っている授業を、GoogleMeet で配信し、一人ひとりの状況に応じて、自宅や学習ルームから授業に参加することができます。生徒と学校が調整をして、より効果的な場面や時間を選んで実施します。



※オンラインによる授業参加については、参加できる教科や方法など個別に状況が異なりますので、まずは学校までご相談ください。

学校窓口：学級担任または
生徒指導専任（門澤 佑輔）まで
電話番号：045-973-3400

月～金 9:00～17:00（祝日・年末年始を除く）

平和を祈念して～ 3年生課題探究学習 平和宣言代表決まる～

6月6～8日、3年生は課題探究学習で広島・京都にてかけます。昨年からの学習を積み重ねてきた平和学習ですが、先日の学年集会を経て、平和宣言代表が決定しました。折しも5月にはG7広島サミットが開催されたばかりです。平和への思いを自分ごととしてとらえることのできる、そんな内容ですので、紙面で紹介します。

『平和宣言』

みなさんにとって、平和とは何ですか？辞書には「戦争や紛争がなく、世の中が穏やかであるさま」と書かれています。「大切な人と一緒にいられること」「みんなが笑顔で過ごしていること」も「平和な世界」だと私は思います。今、この地球は平和と言えるでしょうか。私たちが平和を願っている間も、世界のどこかで戦争が起こっています。なぜ戦争が起こるのか。

それには様々な理由があると思います。異なる民族や宗教間での対立、政権に対する不満を抱えた人々の反対運動、他国を侵略し自国の領土を広げることを実現しようとする覇権国家との対立など、戦争は他者との間に生じる利害の不一致や意見の相違によって起きています。

私たちの身近な出来事で考えてみましょう。普段、自分の考えを押しつけていることはありませんか？無意識のうちに相手を傷つける発言をしてしまいませんか？自分が納得できないからといって相手を傷つけるのは戦争が起きてしまう理由と同じではありませんか？相手を傷つけないためにはお互いが納得するまで話し合えばいいと思います。人を傷つけさえすれば平和は奪われてしまいます。他にも、多くインターネットを利用する中で起きている「誹謗中傷」も言葉の戦争の一つです。誰かの軽率な発言で心に深い傷を負ってしまった人や、命を失ってしまった人が数えきれないほど多くいます。人を傷つけた結果、残るものは何なのでしょう。傷つけられた人には消えることのない傷が心に残り、傷つけた人には罪悪感、後悔が残ります。改めてよく考えて下さい、人を傷つけるのは楽しいですか？命を奪ったあとに後悔したって遅いのです。一人ひとりが自分の言動を見直せば、救われる命はたくさんあります。私たちの身近で起きている小さな戦争も大きな戦争に繋がってしまう、だからこそ、私たちが世界を平和に導いていくことが出来るのです。

多様性を受け入れ、誰もが生きやすいくいごとのない「平和」な世界になることを願い、私たちは言動や考え方を改め、戦争となる小さな争いを、減らしていくことをここに宣言します。

令和5年6月7日

横浜市長市ケ尾中学校 生徒代表 大倉紀花